

## 第2回全日本そば打ちマスターズ大会の概要と事業の成果

- 1 主催 特定非営利活動法人そばネットジャパン
- 2 後援 埼玉県、公益財団法人いきいき埼玉
- 3 協賛 有限会社中村豊蔵商店 岡本木工所 笛木醤油株式会社 株式会社そばの坂本
- 4 開催日時

令和2年9月27日(日) 9:15~17:00

- 5 開催会場

埼玉県県民活動総合センター 2階セミナーホール1

- 6 出場資格

年齢	60~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~
クラス	SJ	S	SS	G	GG	GGG

SJ (シルバージュニア)、S (シルバー)、SS (スーパーシルバー)

G (ゴールド)、GG (グランドゴールド)、GGG (トリプルゴールド)

- 7 審査課題

そば粉 1000g、中力粉 200g 計 1200g を水で打つ。(もりそばで約 12 人前) そばを切り終わるまでとし、制限時間は 45 分  
そばを茹でて試食は無し

- 8 審査内容

そば打ち技術(水回し、練り、延し、切り)に加えて、そば打ちの所作、意気込みなどを総合的に審査する。

- 9 審査員

審査員長 山本育磨 都内でそば店「本陣房」グループを運営する「イクマ  
エンタープライズ代表取締役として活躍

副審査員長 内藤 厚 そば処栃の木や(巣鴨)庵主

審査員 小川伊七 杉戸麺打ち愛好会小川道場 館長  
NPO 法人そばネット埼玉副代表理事

審査員 阿部成男 NPO 法人そばネット埼玉代表理事

- 10 出場者の状況

出場者 32名

GGの部 0人 Gの部 2人 SSの部 7人 Sの部 10人 SJの部 13人  
住所地別(1都7県)

埼玉県 15、千葉県 3、茨城県 3、福島県 3、栃木県 5、長野県 1、群馬県 1、東京都 1

## 11 表彰

### 優勝

#### Gの部

- 優勝 安里為任（長野県諏訪市 信州そばアカデミー）  
準優勝 佐藤勝雄（千葉県野田市 杉戸麺打ち愛好会小川道場）

#### SSの部

- 優勝 上石良雄（埼玉県秩父市 秩父そば打ち倶楽部蕎楽館）  
準優勝 相原喜代治（千葉県我孫子市 我孫子そばの会）  
第3位 長嶋光行（茨城県常陸大宮市 弥七そばの会）  
優秀賞 神田武紀（栃木県宇都宮市 とちぎ蕎和会）

#### Sの部

- 優勝 原口玉枝（埼玉県熊谷市 NPO法人熊谷そば打ち会）  
準優勝 小野常夫（福島県郡山市）小原田そば同好会  
第3位 齋藤正雄（茨城県古河市 個人正会員）  
優秀賞 金子雄二（埼玉県三郷市 さいたま蕎麦打ち倶楽部）  
優秀賞 新寄照幸（埼玉県所沢市 常路麺打ち愛好会）

#### SJの部

- 優勝 本間 昇（栃木県益子町 下野そばの会）  
準優勝 阿部成史（栃木県宇都宮市 下野そばの会）  
第3位 石川利行（栃木県鹿沼市 下野そばの会）  
優秀賞 田中憲一（埼玉県久喜市 久喜蕎麦打ち倶楽部）  
優秀賞 岸 正明（埼玉県所沢市 所沢蕎麦打ち会）  
優秀賞 中村俊一（埼玉県久喜市 久喜蕎麦打ち倶楽部）  
優秀賞 干川重之（群馬県渋川市）渋川そば打ち倶楽部

## 12 事業成果と課題

第2回となる今回の大会は、コロナ感染対策を万全に行つての開催であつた。

このため出場者を1組8人とすることでソーシャルディスタンスを確保し、観客は会場には入れず会場スタッフのみとするなど、感染防止策を施しての実施であつた。

このため事業収支についても、採算を度外視しての運営とならざるを得なかつた。

しかし、参加者は長野県はじめ埼玉県以外からも多数集まり、予定どおりの数となり、コロナウイルスによるそば活動が阻害される中、大いに元気づけられるものとなつた。

今後、コロナ対策に万全を期すとともにできうる限り活動を進めていくことの必要性を改めて感じたところである。

## 13 新型コロナウイルス感染防止対策

- ◇ 出場者、審査員、スタッフ合わせて、開催会場の定員（201人）の3分の1とし、出場者の間隔を2m以上空けるため、通常1組12人で実施していたものを8人い制限した。そのため、応援、見学は禁止とした。
- ◇ 会場入場の前に、出場者、スタッフ全員、検温、手指の消毒を行い、会場の換気、1組終了ごとに共用備品の消毒等を徹底した。

14 大会風景



開会式を待つ出場者 32 名は、久しぶりのそば打ちイベントに心躍るような雰囲気にあふれています。



いよいよ大会開始、ベテラン揃いの皆さんですが、やはり緊張感あふれるひと時になります。今回は、審査員も、出場者もマスクにフェイスシールドをとといういで立ちになりました。



皆さん、コロナ禍で稽古不足を心配していましたが、流石に日ごろから鍛えていた技は冴えて、姿勢もよく澁刺と打っています。



無観客という、寂しい大会を盛り上げようと、出場者紹介も熱が入ります。



成績発表の前に、ノーサイドで出場者勢ぞろい記念写真です。（一瞬だけマスクを外しました。）



GG（グランドゴールド）の部で金メダル、銀メダルを受賞した、安里氏（長野県）、佐藤氏（千葉県）